

第5回 京都市駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会 摘録

○日 時 平成26年1月16日（木曜日） 午後6時30分から午後8時30分まで

○場 所 京都市男女共同参画センター（ウィングス京都） 2階 セミナー室B

○委員（敬称略，五十音順）

青山 吉隆（座長）	京都大学名誉教授
大庭 哲治	京都大学大学院工学研究科助教
小浦 久子（欠席）	大阪大学大学院工学研究科准教授
西嶋 淳	大阪商業大学経済学部教授
北條 倫子	市民公募委員
山田 文	京都大学大学院法学研究科教授

○議事内容

1 開会

- ・ 会議を公開とすることを出席委員の了解により決定。
- ・ 一般傍聴者2名入場。

2 事務局より資料説明

- ・ パブリックコメント（案）について
「駅周辺にふさわしい都市機能の集積のあり方について（素案）」にて説明。
 - ・ スケジュール，全体構成について 表紙，検討委員会について，目次にて説明。
 - ・ はじめに（動向と基本的考え方）（第1回議論） ページ1～2にて説明。
 - ・ エコ・コンパクトな都市構造（第2回議論） ページ3～4にて説明。
 - ・ 実現に向けた考え方（第3～4回議論） ページ5～8にて説明。
 - ・ 集積のあり方（第2～4回議論） ページ9～11にて説明。
 - ・ おわりに（京都市に対する提言） ページ11にて説明。
 - ・ 参考資料について ページ12，別紙（まとめ）にて説明。
 - ・ 記入用紙について ご意見記入用紙にて説明。

3 意見交換

大庭委員 7～8ページの駅の例示の基準は何か。1駅の場合も2駅の場合もあるが。

事務局 代表的な駅を挙げている。ただし，1駅ではイメージしにくい場合は2駅挙げている。例えば，交通結節点の場合，鉄道駅間の乗換えが行われる駅として京阪と近鉄丹波橋駅を，鉄道駅とバスの乗換えが行われる駅として桂駅を挙げている。

大庭委員 観光サービスにおいて，阪急嵐山駅のみ挙げていることに違和感がある。何らかの理由を持って挙げる方が良いと思う。

- 事務局 基本は京都市都市計画マスタープランで挙げられているエリアに近い駅をイメージしやすいように例示駅として挙げている。
- 北條委員 イメージというのであれば、京福嵐山駅の方が店も多く、観光地のイメージには近いと思う。
- 事務局 回遊性がある地域なので、エリアで見た方が良いのかもしれない。あくまでもイメージを持っていただくための例であるので、京福電鉄嵐山駅と阪急電鉄嵐山駅の両方を挙げることにしたい。
- 西嶋委員 10ページの「誘導する都市機能の例」で「保育所、高齢者福祉施設等の福祉機能」とひとまとめに書かれている。カテゴリーとしては間違いでないが、誘導するという観点からすると、保育所は日中、働いている親にも負担の少ないところ等、立地場所としては同じではないように思う。4ページの図にも影響するため、煩雑になることから、市民の意見を待っても良いかもしれないが。
- 7ページの凡例に「電車やバス」と書かれているが、他は「鉄道やバス」と書かれているので統一する方が良いと思う。また、鉄道とバスの路線の色も凡例に示した方が良いでしょう。
- 事務局 保育所と高齢者福祉施設は分けて記述する方向で考えたい。
- 大庭委員 7ページの図で注記の箱書きが色塗りされているが、色分けの意味は何か。
- 事務局 説明するエリアの色と合わせていたが、結果的に図で示している色と合っていないため、色は抜くこととする。
- 山田委員 4ページの真ん中の図であるが、「市民の暮らしを支える視点+都市の活力や魅力を高める視点⇒エコ・コンパクトな都市構造」については、エコ・コンパクトとしての「ネットワーク」「公共交通機関を使う」「駅に集積」などの言葉を入れるべきだと思う。
- 青山座長 3ページの下の方の矢印「公共交通機関によるネットワーク」を活かした表現を入れるべきではないか。
- 事務局 工夫して入れることとする。
- 青山座長 3～4ページで、広域拠点、地域複合拠点、日常の生活を支えている地域、魅力づくり拠点の4つについて書かれている。はじめの3つはそれぞれ別だが、魅力づくり拠点はそれら3つのどこにでも入る。図では表現されているが、文章でもその説明が必要ではないか。
- 事務局 4ページの最初の説明のところに追記することを考える。

北條委員 3ページの3つの箱書きの最後の箱書きだけに左から矢印が入っているのは意図があるのか。

事務局 箱書きは議論されてきたことを強調するため、矢印はその流れのまとめとして示している。

北條委員 下の図が本文の流れから切り離されてしまっているように感じる。下の図は2つ目の箱書きからの流れだと思うので、3つ目の矢印付き箱書きと、図を入れ替えてはどうか。

事務局 入れ替えることにする。

青山座長 3ページの中央の紫色の「市民の暮らしを支える都市構造」に対し、4ページは表題の「都市の活力や魅力を高める視点」しかない。その後で、その2つを「+」で結んでいるのだから、こちらも4ページ側も紫色で統一するべきではないか。3ページの紫色の「市民の暮らしを支える都市構造」は、結論のような位置付けだから、3ページの最後に持ってきてても良いかもしれない。

西嶋委員 逆に、紫色の「市民の暮らしを支える都市構造」をなくしてしまっても良いのではないか。結論ということであれば、3ページの矢印付き箱書きで説明がある。その後「+」で結んで、また「エコ・コンパクトな都市構造」となるのであるから、今のままでは「都市構造」という表現の重なったものになってしまう。

事務局 紫色の「市民の暮らしを支える都市構造」を抜くようにする。

大庭委員 3ページの図の「日常の生活を支えている地域」の色と、4ページ下の図の色が違うので合わせた方がよいのではないか。

事務局 合わせるようにする。

青山座長 9ページの検討の視点の文体が「べきではないか」になっており、他と違う。「べきです」程度にできないか。

事務局 そのようにする。

青山座長 9ページの下の京都駅周辺エリアの文章の最後に「都市環境」という抽象的な表現があるが、これは「都市景観」のことを指しているのか。

事務局 議論で出た「都市景観」のことを指しているが、土地利用の概念も含めた場合、大きく「都市環境」という表現にしている。

西嶋委員 「都市景観」のように客観的なものの方が、表現としては良いという考えもあるのではないか。

- 青山座長 事務局側で検討していただきたい。最終的には事務局に任せる。
- 事務局 どのような表現が良いか検討してみることとする。
- 山田委員 11ページ（4）の文章だが、2段落目で「都市計画的に制限があつて立地できない場合」の記載があり、その後、それ以外の場合があり、さらに丸付きタイトルでやはり「駅前に店舗が立地できない駅」が書かれている意図は何か。
- 事務局 日常の生活を支えている地域は、今後の動向を見ながら検討していく必要があるが、今回の見直しで対応するのは、「駅前に店舗等が立地できない駅」である。しかし、最初から対応するところだけを記述すると、他の地域について議論されていないような内容となってしまうため、まずは、前段で両方について記述している。
- 山田委員 同じ話が2度繰り返されることとなり、後ろで特に詳細に述べられているわけでもないので、まとめても良いのではないか。
- 事務局 あえて丸付きタイトルの段落として書く必要もないので、まとめることとする。
- 西嶋委員 この段落にも、前ページの（3）にもある「ただし書き」だが、今までの方針を変更するにあたり、十分に周辺の状況を考慮するという強調する内容であれば、改行したほうが良いと思う。
- 事務局 改行することとする。
- 青山座長 4つの地域以外のその他の地域はどうするのかという質問が来たらどうするのか。
- 事務局 今回は駅の周辺に都市機能を集積するという視点で議論している。駅以外についても商店街があり、その振興策は別途取り組んでいる。また、バスを介して駅を利用する場合については、バス乗降客数を指標として取り入れる等、地域複合拠点の検討の際に確認している。
- 北條委員 記入用紙について、下に行政区についての項目があるが、どのような駅・バスを使うかというデータがとれた方が良いのではないか。
- 事務局 どこまで記入頂けるかという問題もあるので、必要最低限の項目として行政区と年齢を入れている。必要であれば、追記できるかどうか検討してみる。
- 西嶋委員 回答者の対象は問わないか。
- 事務局 対象は問わない。
- 西嶋委員 別の様式で意見を記入される方も多いと思うが、「別の様式で記入頂いても結

- 構です」の一文は入れた方が良くはないのか。
- 事務局 入れるようにする。
- 青山委員 最近のパブリックコメントでは、FAX とメールではどちらが多いのか。
- 事務局 メールでの御意見の割合が多くなっている。最近はホームページを見てそのまま意見をいただくことも多くなっている。ただし、FAX や郵便による御意見がなくなったわけではない。
- 大庭委員 駅周辺とはどの範囲かということについて、記載しているか。
- 事務局 委員会で駅周辺の範囲についての議論があり、駅周辺は必ずしも 500m で決めてしまうわけではないので、明確に数字をもって記載はしていない。
- 青山座長 但し書きで、500 という数字を出さずに、徒歩圏と書いた程度が良いだろう。
- 西嶋委員 いろいろ議論もあるので、徒歩圏のイメージだけで良いと思う。
- 北條委員 表紙の中に注意書きを記述するのが良いと思う。
- 事務局 表紙に、駅周辺についての説明として徒歩圏の記述を入れることとする。
- 青山座長 参考資料の表はパブリックコメントに載せるのか。
- 事務局 今回「参考」として提示したA3の表だが、現在、示しているパブリックコメントの「まとめ」として作成した。これをパブリックコメントに付けることはできる。
- 青山座長 あった方がわかりやすいと思う。第4回検討委員会の資料3-1の表は出さないということで良いか。
- 事務局 前回の資料3-1の表を出す予定はしていない。「参考」の表は12ページとしてA3折り込みの形で出すこととする。
- 山田委員 順番だが、参考資料の表であるが、「魅力づくり拠点」が一番下で良いのか。
- 事務局 冊子の8ページが逆転して記載している。また10ページ11ページについても同じである。
- 山田委員 まとめであれば、順番をそろえた方がわかりやすいのではないか。
- 青山座長 3～4ページでは、「魅力づくり拠点」が後になっている。
- 北條委員 真ん中に「魅力づくり拠点」を挟むと、「魅力づくり拠点」は「日常の生活を支えている地域」にはないという印象を受けてしまうのではないか。
- 青山座長 まとめの順番にしたらどうだろうか。その場合7ページ以降が差替えになる。
- 事務局 8ページの(3)と(4)を入替え、10～11ページの(3)と(4)と入れ替えることとする。

大庭委員 この参考資料を入れるのであれば、文言の確認、先ほどの修正の反映もお願いしたい。色についての反映もお願いする。

事務局 冊子と合わせるようにする。

青山座長 広域拠点以外の拠点の数は出さないというまとめ方で良いだろうか。数から言えば日常の生活を支えている地域が一番多いのだが、まとめの表の大きさから受ける印象として、一番少ないように見えてしまわないだろうか。

北條委員 最終ページの参考図から駅の数はいくつ推測できるのではないだろうか。

事務局 乗降客数で色分けしているので、ある程度は推測できるとは考えている。

西嶋委員 せめて、表における日常の生活を支えている地域の字の大きさを地域複合拠点と同じにするなど工夫できないだろうか。

北條委員 参考の図の駅名や路線名が雑然としており、分かりづらいので、なんとかできないだろうか。

事務局 フォントを変えるなど、工夫して区別できるようにする。

西嶋委員 11ページ「おわりに」の第1段落最後の「市民の皆様や事業者」を「市民や事業者の皆様」のように変更をお願いしたい。

事務局 修正する。

事務局 これまでに指摘いただいた事項を確認したい。

- ・ P 3 : 下段の図にある「市民の暮らしを支える都市構造」は削除する。
- ・ P 3 : 5段落目「市内には約130もの…」の段落と、同ページ図を上下入れ替える。
- ・ P 3 : 図「日常の生活を支えている地域」の色は、次ページ図と合わせる。
- ・ P 4 : 「都市の活力や魅力を高める視点」においては、「魅力づくり拠点」は「広域拠点」「地域複合拠点」「日常の生活を支えている地域」のいずれにも存在する場合があるので、1段落目の後に、その旨を追記する。
- ・ P 4 : 中段の緑色の取りまとめの部分で、「公共交通機関によるネットワーク」や「駅を中心とした」という文言も追記する。
- ・ P 4 : 概念図内の福祉施設については、現状のままとし、御意見があれば修正する。
- ・ P 7 : 図の注記の箱書きの色は抜く。
- ・ P 7 : 鉄道、バスの路線についても凡例に追加する。
- ・ P 7 : 凡例内の「電車」の表記「鉄道」に修正する。

- ・ P 8 : (3) と (4) の並びを入れ替える。
- ・ P 8 : 観光・サービスの例として「京福電鉄 嵐山駅」を追記する。
- ・ P 9 : 検討の視点の中で「べきではないか」を「べきです」に修正する。
- ・ P 9 : 京都駅周辺エリアの「都市環境」の表記については、事務局で検討する。
- ・ P 1 0 : 誘導する都市機能の例の「保育所、高齢者福祉施設等の福祉機能」を保育所と高齢者福祉施設を分けて表記する。
- ・ P 1 0 : (3) の「ただし」書きの部分を改行する。
- ・ P 1 0 ~ 1 1 : (3) と (4) の位置を入れ替える。
- ・ P 1 1 : (4) の「ただし」書きの部分を改行する。
- ・ P 1 1 : 丸タイトルの駅前に店舗等が立地できない駅については、上の段の文章内でまとめる。
- ・ P 1 1 : 「おわりに」の部分で、「市民の皆様や事業者」を「市民や事業者の皆様」とする。
- ・ 表紙 : 注意書きとして、駅周辺の注釈として徒歩圏である旨の説明を追記する。
- ・ 意見記入用紙 : 「行政区・年齢」のところに、「よく利用される駅」も記入できるよう検討する。
- ・ 意見記入用紙 : 「別紙での意見提出が可能である」旨の注意書きを入れる。
- ・ A 3 表 : 本冊での指摘事項を反映し、本冊 1 2 ページとして追加する。
- ・ A 3 表 : 日常の生活を支える地域の書式をその他の拠点と合わせる。
- ・ 目次 : (3) (4) の順序の変更を反映する。

大庭委員 A 3 表のタイトルが、このままだと冊子のタイトルと同じであり、全体のまとめのように読めてしまうので、「について」を消すなり検討していただきたい。

事務局 「あり方」のとりまとめとして「について」を消す方向で考える。

事務局 事務局で明日中には指摘事項を修正し、修正案を確認のうえ了解をいただきたい。また、パブリックコメントの実施は、2月7日から3月7日を予定している。

青山座長 今回はパブリックコメントの意見が集まった後か。

事務局 途中経過は別途連絡させていただくなど、個別に相談させていただきたい。パブリックコメントの意見を取りまとめた後に第6回を開催したい。現段階の予定として、3月の17日の週以降の日程で調整したいと考えている。第6回は、パブリックコメントの意見を基に「あり方」を取りまとめるため、

議論いただきたい。

4 終了

- ・傍聴者退場。
- ・会議の摘録は前回同様，事務局が作成し公開するというので，委員了解。

以上